

# NURSING RESEARCH and COLLABORATION CENTER

## 看護研究センター

看護サービスの質の向上を目指して  
看護実践現場と大学の連携を支え、  
看護職の皆様の生涯学習を支援します



岐阜県立看護大学  
GIFU COLLEGE OF NURSING

# 看護職の皆様の生涯学習を支援します 看護サービスの質の向上と

岐阜県立看護大学は、県内における看護の質の向上を使命として、2000年（平成12年）に設立されました。看護学の教育と研究の中核を担う機関として、地域に根ざした看護の発展に貢献しています。開学当初に設置された「看護研究センター」は、地域貢献の拠点として、看護の実践現場と大学をつなぐ役割を果たしてきました。以来、組織体制や活動内容を充実させながら、県内の看護の質向上に取り組んでいます。

看護研究センターは、本学の理念に基づき、看護職の皆様が日々の実践の中で抱える課題に向き合い、より良い看護サービスを提供できるよう支援しています。特に、現場での実践上の課題に研究的に取り組む「看護実践研究」を推進しており、大学と現場がつながり、協働することで、これからの社会を見据えた看護を共に創っていくことをめざしています。

主な事業としては、看護職の方々と研究の過程を共に歩み、看護サービスの改善・充実をめざす「共同研究事業」、県内看護職を対象として、現場の実態に即した研修機会を提供して看護職の生涯学習支援に取り組む「看護実践研究指導事業」、看護実践研究学会の会員への研究支援や学術集会の開催支援を行う「看護実践研究学会への支援」、就業・キャリア支援を通して卒業者の成長をサポートする「卒業生への支援」等があります。いずれの事業においても、現場の声を大切に、看護職の皆様と課題を共有しながら、共に解決策を考えていく姿勢を大事にしています。

今後も、これまでに築いてきた実績を土台にしながら、これからの社会に求められる看護のあり方を看護職の皆様と検討していきます。大学と現場がつながり、協働することで、看護の実践・研究・教育が一体となって発展していくことを目指します。看護の未来を共に創るパートナーとして、看護職の皆様とのつながりを大切に、これからも歩み続けてまいります。

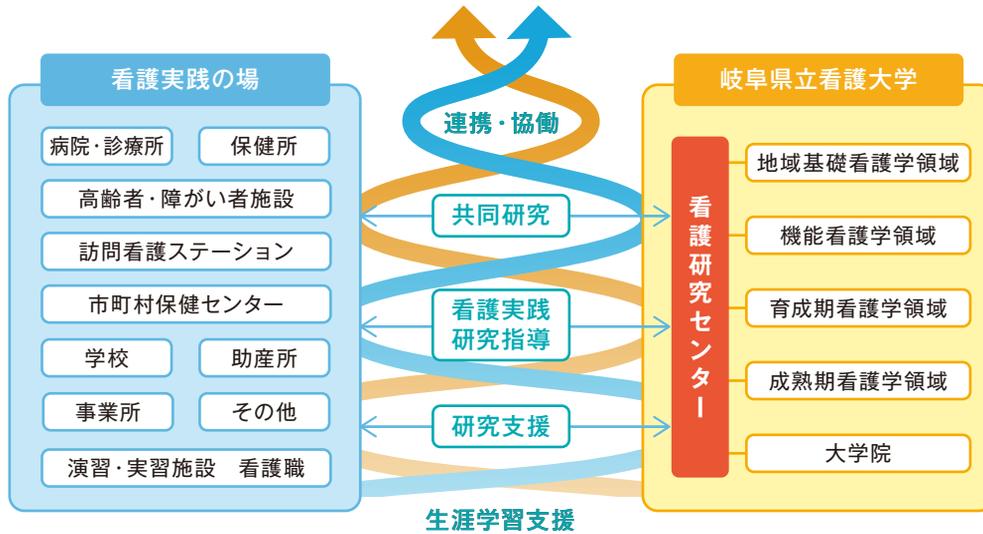
看護研究センター長

大川 眞智子



# 看護研究センターの活動

## 看護実践の改善・質の向上



### ●共同研究事業

看護実践に従事する人との共同研究の調整をしています。共同研究が現場の実践改善に結び付いたか、学生の授業や実習など教育活動に反映されたか、などの効果についても評価を実施しています。⇒詳細は 3 ページ参照

### ●看護実践研究指導事業

本学では県内看護職が大学の知的資源を利用して自己学習や業務改善ができるように看護の実践研究指導・研修事業を実施しています。当センターでは事業を円滑に実施するための調整役を担っています。⇒詳細は 4 ページ参照

### ●卒業者への支援

本学では卒業者が看護職者として成長していけるような支援を卒業後も引き続き提供しています。当センターでは支援窓口の役割を果たしています。⇒詳細は 5 ページ参照

### ●看護実践改革のモデル施設づくり

これまで本学が県内の医療機関と個別的に取り組んできた地域貢献活動をモデル的に統合させ、施設単位で実施することを通して看護の充実や本学と当該施設との共同関係を強化することを目指しています。⇒詳細は6ページ参照

### ●看護実践研究学会への支援

本学では「看護実践研究学会」の会員が取り組む看護実践研究に対して本学教員が研究支援を提供します。当センターでは教員の紹介と学会の活動支援をしています。

⇒詳細は 6 ページ参照

### ●看護生涯学習に関する相談

本学の学士課程と博士前期課程における科目等履修生制度、大学院における博士前期課程(3年)と博士後期課程(3年)に関する相談を受けています。

### ●看護実践フィールドの管理や学外への情報発信

本学が臨地実習や各種事業などで関わった施設のデータベースを管理・活用し、本学の教育・研究活動の基盤を充実させています。また、共同研究事業や看護実践研究指導事業などの成果の蓄積および効果的な発信方法を追求し、看護実践現場における研究成果のさらなる活用を促進します。

## 共同研究事業

研究的な手法を用いて看護サービスの改善・質の向上を目指すもので、看護職の方々と教員が双方の役割の違いを活かしつつ、共に現場の課題解決に取り組みます。共同研究のプロセスを通して看護職の生涯学習支援と人材育成に寄与することを目的としています。共同研究の成果は本学の学士課程や大学院での教育活動でも紹介・活用されます。

### 共同研究の取り組み体制

看護研究センターが以下のスケジュールで事業の運営・評価を行っています。

#### ■年間スケジュール

4月

共同研究の応募要件を満たすよう、現地看護職の方と本学教員が研究計画書を作成して申請します。

5月

申請内容が審査され、審査結果が伝えられます。採択後、共同研究を開始します。

現地看護職の方と本学教員が共同して研究を推進します。

2月

「共同研究報告と討論の会」に参加し、報告・意見交換を行います。

3月

1年間の研究成果をまとめた報告書の作成を協働して行います。

#### 共同研究の応募要件・申請はこちら

URL <https://www.gifu-cn.ac.jp/nrcc/research/flow/>



### 共同研究報告と討論の会

共同研究の経過を振り返り、研究成果を広く共有するために、毎年2月の土曜日に開催しています。それぞれの課題の報告後に報告者や共同研究者を囲んでのディスカッションを行います。それにより他施設からの看護職の参加者からの意見も聞けて、互いに学びあう機会になっています。

令和7年度の開催日は令和8年2月21日(土)です。  
ぜひご参加ください。

URL <https://www.gifu-cn.ac.jp/nrcc/research/discussion/>



## 看護実践研究指導事業

岐阜県内の看護職の質の向上を実現する手段として、県内看護職に対して現場の実態に即した研修の機会を提供します。研修を通し、県内看護職による実践研究の実施を奨励し、岐阜県の広範な地域を視野に入れたケアサービスの質の向上を目指しています。それにより県内看護職による現場の見直し、業務改善につながることを目指しています。

### 利用者ニーズを基盤とした入退院支援の質向上に向けた看護職者への教育支援

平成24年度開始

令和7年度の 研修予定日	「ベーシック研修」	2025年9月17日(水)	9時～16時
	「アドバンス研修」	第1回：2025年 9月24日(水)	15時～17時
		第2回：2025年10月29日(水)	14時～16時
		第3回：2025年11月19日(水)	14時～16時
	「エキスパートミーティング」	2025年8月20日(水)	14時～16時

### 専門看護師の看護実践の質向上を目指す研修会

平成28年度開始

令和7年度の 研修予定日	「専門分野を超えた事例検討会」	2025年9月 6日(土)
-----------------	-----------------	---------------

### 養護教諭のスキルアップと養護教諭像の醸成を目指した学びの会

平成28年度開始

令和7年度の 研修予定日	「養護教諭学びの会」	第1回：2025年 8月23日(土)	13時30分～16時30分
		第2回：2025年 12月	(開催日時未定)

### 高齢者の誤嚥・窒息ゼロを目指す研修会

令和4年度開始

令和7年度の 研修予定日	「誤嚥・窒息ZERO研修」	第1回：2025年 7月12日(土)	9時～13時
		第2回：2025年12月20日(土)	9時～13時

### 看護小規模多機能型居宅介護事業所における看護活動に関する取り組み

令和5年度開始

令和7年度の 研修予定日	交流会の開催(1回)	2025年9月(予定)
-----------------	------------	-------------

#### 令和7年度の事業・研修予定

最新の情報はこちら▶

URL <https://www.gifu-cn.ac.jp/nrcc/coaching/workshops/>



参加者に対して  
修了証を交付している  
研修会もありますので、  
詳細はお問い合わせ  
ください。



## 卒業者への支援

本学は、卒業者の看護職者としての成長を卒業後もひきつづき支援していきたいと考えています。そのため、卒業者が仕事上の不安や悩みを気軽に相談できる就業・キャリア支援のために、全学的な相談支援体制をとっています。看護研究センターは、支援窓口の役割を果たしています。

### 岐阜県立看護大学が行う卒業者への支援の概要

#### 新卒者交流会

就業したばかりの新卒者が職場に適応していけるように、同期の仲間や教員と交流し、不安や悩みなどを自由に語り合うために学内で開催する会です。開催日は卒業時にご案内します。

#### 卒後2年目卒業者交流会

就業して1年が経過しても看護専門職として不安や戸惑いが多いので、卒後2年目の卒業者を対象にして、同期の仲間や教員と交流する会を新卒者交流会と同じ日に学内で開催しています。

卒業者同士の情報交換・交流支援

卒業者

#### 看護生涯学習支援

##### 研究支援

本学の共同研究事業や看護実践研究会の会員への研究支援を通して、卒業者が看護実践現場の改善・質の向上を目指した研究活動を実施することを支援しています。

#### 就業・キャリア・大学院進学支援

##### 相談体制

就業上の悩みやキャリアアップ、大学院への進学など、卒業者が相談したいことに対して、いつでも気軽に教員と相談できる窓口を設け、適切な教員を紹介して個別に対応しています。

### 就業・キャリア・大学院進学支援

卒業者の方からの仕事上の悩みやキャリアアップ、大学院への進学などの相談を受け付けています。当センターが窓口となり希望に応じて適切な教員を紹介します。オンライン相談会も定期的（2か月に1回程度）に開催しています。



▲お問い合わせ  
フォーム



▲オンライン  
相談会はこちら



## 看護実践改革のモデル施設づくり

本学の地域貢献活動の新たなステップとして、令和4年度から「看護実践改革のモデル施設づくり事業」に取り組んでいます。本事業は、これまで県内の医療機関と個別に取り組んできた地域貢献活動をモデル的に施設単位に統合させて実施することを通して、本学と施設との共同関係をより強化し、当該施設の看護の充実や強みの強化を図ることをめざした活動です。現在2施設と取り組んでいます。



## 看護実践研究学会への研究支援

### 研究支援

「看護実践研究学会」の会員が取り組む研究に対し本学教員が研究支援を行います。支援方法は研究計画や進捗状況に応じて面接やメールによる助言、相談になります。支援期間は1年間で研究支援を受けた会員は、研究結果・成果を「看護実践研究学会学術集会」で報告してください。

令和7年度の学術集会の開催日は**9月6日(土)**です。

URL <https://cf.anpr.jp/>





## 看護研究センターの施設

看護研究センターは研究棟4階の  
研究室416と417です。

大学にお越しの際は  
どうぞお立ち寄りください。

最新情報は看護研究センターの  
ホームページをご確認ください。

URL <https://www.gifu-cn.ac.jp/nrcc/>



## 岐阜県内の看護職の皆様へ

こんな時、看護研究センターへ気軽にお問い合わせ下さい。

職場で、研究的取り組みによって  
**解決したい問題・達成したい課題**がある!!



職場の課題に取り組むために、  
大学と一緒に検討する方法として、  
① 大学と共同研究を行う。  
② 看護実践研究学会の会員になり、  
大学教員から研究支援を受ける。  
などの方法があります。  
どの方法がよいのか、一緒に検討します。  
また、研究課題に応じて、  
学内の適切な教員をご紹介します。



## お問い合わせ先

### 看護研究センター

TEL&FAX: (058) 397-2326

メールアドレス: [nccenter@gifu-cn.ac.jp](mailto:nccenter@gifu-cn.ac.jp)

お問い合わせ  
フォーム▶



岐阜県立看護大学  
GIFU COLLEGE OF NURSING

〒501-6295 岐阜県羽島市江吉良町3047-1  
TEL: (058) 397-2300 FAX: (058) 397-2302  
URL: <https://www.gifu-cn.ac.jp>

編集: 看護研究センター  
発行: 令和7年7月

本冊子の記述、写真、図表の著作権は岐阜県立看護大学に帰属します。  
無断転載は一切お断りします。